

①若者選挙ネットワーク支援事業『SNSの活用方法講座』

12月15日に、若者選挙ネットワークの支援事業の一環として、「SNSの活用方法講座」を実施します。

「選挙の啓発活動をうまく発信できない。」「啓発風景の写真を効果的にSNSに載せたいけどうまく撮れない。」といった学生向けの講座となっており、広告代理店でSNSの担当をしている講師に、「選挙とSNS」等について講演いただくとともに、ワークショップを実施し、TwitterやInstagramのテストアカウントで投稿を作成するなど、実践的な取組を行う予定としていますので、奮ってご参加ください。なお、当日参加できない方にも、今回の事業内容をフィードバックできるよう、当日の様子を共有など、工夫したいと思っています。

日時：令和元年12月15日(日) 12:30～15:30

場所：鹿児島県鹿児島市山之口町1-10 鹿児島中央ビルディング8階

②政治家の寄付禁止に係る啓発へのご協力をお願いします！

年末年始はお歳暮やお年賀など贈り物の機会が増える時期です。先日、寄付禁止に関する通知をしておりますが、政治家や有権者に寄付禁止等と呼びかける機会ですので、各団体で発行される広報誌、ホームページ、SNS等、各種媒体を活用した積極的な啓発へのご協力をお願いいたします。

※総務省では、12月2日発行の総務省広報誌において寄付禁止の記事を掲載します。

※広報誌の原稿データは、事前にご相談のうえ、ご利用いただくことができます。

【参考URL】 http://www.soumu.go.jp/menu_news/kouhoushi/koho/index.html

③『女性の政治参画マップ2019』の公表(内閣府)

内閣府男女共同参画局が『女性の政治参画マップ2019』を公表しましたので、出前授業等の主権者教育を実施する際の参考としていただければと思います。

【参考URL】 <http://www.gender.go.jp/policy/mieruka/government.html#josei>

④新成人向けパンフレットを作成しました【明るい選挙推進協会】

協会では毎年、新成人向けのパンフレットを作成し、主に成人式での配布資料としてご利用いただいています。今年度も、わかりやすい解説で人気のジャーナリスト池上彰さんにご協力いただき「池上彰のよくわかる選挙と政治の話2020」を作成しました。選挙の意義や投票方法、選挙の仕組みなどをマンガやイラストで解説しているほか、来年行われる東京オリンピックに関連して「オリンピックと日本の政治について」と題したコラムも掲載しています。当該パンフレットをご希望いただきました選挙管理委員会へは12月上旬頃に配布予定しています。

【問合せ先】(公財) 明るい選挙推進協会 Tel: 03-6380-9891

⑤さいたま市教育委員会による主権者教育の取組

平成28年度より3カ年で、政治的教養を育む教育の充実を図るため、市内の中学10校を「さいたま市主権者教育研究開発モデル校」に指定し、成果を広めてきました。また、「さいたま市の主権者教育」リーフレットを市内の全教員に配付し、教科等横断的に主権者教育を推進するように取組んでいます。

市立本太中学校では、「本物に触れる取組」「18歳を見通した取組」を第一に租税・年金・選挙と継続的に学ぶことで、数年後に迫る社会参画を自分のこととしてとらえ、多面的に理解させることを目的とした主権者教育事業を浦和年金事務所や税務署、市選管の協力をうけ、9～10月にかけて全3回にわたり実施しました。

年金の仕組みや使われ方や、折しもその日から始まった増税の話、税の役割・大切さを学んだ他、生徒会役員選挙の中で、投票の意義を学び、市選管の協力により本物の記載台や投票箱を使用し選挙を実施しました。生徒からは、「自分の意見を反映させる大きな手段が選挙であることの理解がより深まりました。」との感想がありました。



⑥主権者教育アドバイザー紹介 田中 伸(岐阜大学教育学部准教授)

愛知県立知立東高校では、公民科の増井強志教諭が他教科の教員と協働し、公民科(政治経済)と総合的学習(探究)の時間を連携した計画を実施している。本年度は、まず田中准教授が「地域課題を考える」というテーマで全校生徒向けに課題を発見・分析する方法論の理論と具体を示した後、生徒はチームに分かれて約1ヶ月間、課題の発見・文献調査・フィールドワーク等を行った。

その成果として、公開政策討論会(写真①)を実施し、全校生徒から選出された2チームが知立市へ政策を提案した。第1グループは「知立まつり」を盛り上げることで、第2グループは外国人が多い知立の特質を生かしたまちづくり、市は、高校生が市の魅力発信として飲食店を紹介する政策を提案し、その後討論し、最後には手元の札を挙げることで自身が支持する政策を表明した(写真②)。

写真① 写真②
このような計画では生徒のモチベーションが重要である。そのため、各種講座にて生徒の興味・関心を引きつけ、彼らの主体的な探究を促す様、心掛けている。今回の討論会では、登壇していない生徒からも多くの質問が上がり、会場全体が大きな政策論争の場となった。



写真①



写真②

主権者教育だよりへの情報掲載について

主権者教育だよりでは、主権者教育や選挙啓発に関する総務省や各選管などの取組を広く情報発信しています。自分たちの取組みやイベントを紹介してほしいという希望にも可能な限りお応えしますので、是非ご連絡ください。なお、配信は毎月月末を予定しています。

【問合せ先】総務省自治行政局選挙部管理課選挙啓発係 内山・堀籠・磯部 Tel: 03-5253-5574 FAX: 03-5253-5575